

2016(平成28)年4月11日

【日本初！】テロ状況予測シュミレーション体験ワークショップ
~ It's All Possible!~

一般社団法人 ASIS インターナショナル日本支部
セキュリティミーティングにおける
「テロ対策訓練」のお知らせ

一般社団法人日本防災教育訓練センター
代表理事 サニー神谷

<http://irescue.jp> email: info@irescue.jp

伊勢志摩サミット開催（5月26日、27日）まであと49日となります。
昨年1月、イスラム国が日本でのテロを予告後、一部の感化された日本の若者が
ホームグロウンテロリストとして、日本国内でテロを計画していると考えられて
います。

一般社団法人日本防災教育訓練センターでは、一般社団法人 ASIS インターナシ
ョナル日本支部が主催するワークショップでは、参加者がテロリスト側に立って、
国内で起こりうる仮想テロを数案企画し、各案を元に具体的なテロ対策を立てて、
警察と消防の複合機動部隊フォーメーション、被災者救出救助までをリアルに
シュミレーションし、発表します。

-記-

1) 日時

2016年4月19日(火) 午後6時45分～（午後6時30分受付開始）

2) 場所

国際文化会館 402号室・403号室 東京都港区六本木5-11-16 (TEL: 03-3470-4611)
<http://www.i-house.or.jp/access.html>

3) 当日のスケジュール

18:30 - 受付 18:45 - 開会挨拶等（ASIS事務局より） 19:00 - 20:00 ワークショップ

4) ファシリテーター：サニー神谷、一般社団法人日本防災教育訓練センター
代表理事、テロ対策専門家、危機管理アドバイザー、防災コンサルタント

<http://irescue.jp> email: info@irescue.jp

5) 取材申込・問合せ

4月18日（月）までに一般社団法人ASISインターナショナル日本支部
（info@asis-japan.org）までお申し込みください。

■ ↓ ASIS日本支部4月の月例セミナー案内

http://www.asis-japan.org/security-seminar/Seminar_Guidance





2016年1月

ASIS インターナショナル及び日本支部のご紹介

ASIS インターナショナルは、セキュリティの専門家をメンバーとする世界最大のセキュリティ団体です。セキュリティ機器・サービスの供給側の会員はむしろ少数で、企業経営者や幹部クラス、セキュリティ関係者のほか、コンサルタント、建築家、弁護士、警察関係者なども加わって活発な活動を展開しています。

ASIS は、産業界の様々な分野でのセキュリティ関連業務が、より効果的で効率的なものになることを目指しています。このため、年次総会とこれに付設される展示会をはじめとする多様な広報活動と教育活動に力を注いでいます。ASIS インターナショナル会員には、豊富なインターネットコンテンツや各種サービスを受ける特典が与えられるほか、月刊誌「セキュリティ・マネジメント」が無料購読できます。

米国本部の概要

- ・創立 : 1955年(昭和30年)
- ・本部事務所 : 米国バージニア州アレキサンドリア
- ・CEO : Peter J. O'Neil(ピーター・J・オニール)
- ・会員 : 約38,000名(個人会員のみ。法人会員は受け付けていません)
- ・会費 : 195米ドル
- ・支部 : 全世界に200支部
- ・委員会 : 31委員会(ボランティア活動)
- ・理事会 : 14人
- ・会長(2015年) : David C. Davis (デイビッド・C・デイビス)
- ・本部常勤職員 : 約82人
- ・資格制度 : 以下の3資格(3年毎に更新。現在数は約6,500人)
 - (1) CPP : 総合セキュリティ・プロフェッショナル
 - (2) PSP : 物理セキュリティ・プロフェッショナル
 - (3) PCI : 認定プロフェッショナル調査士
- ・ASIS 基金 : 1966年より各種調査研究を支援
- ・ASIS 年次総会 : 世界最大のセミナーと展示会
 - 2015年9月 カリフォルニア州アナハイムで開催
 - 参加者総数18,000人、セミナー数200、出展社数600
 - 2016年はフロリダ州オランドで開催予定(9月)
- ・会員の特典 :
 - (1) 月刊誌「セキュリティ・マネジメント」の無料購読、毎日発行のオンラインマガジン
 - (2) 書籍割引購入、イベント参加費割引
 - (3) 年間30回以上の教育セミナー・コンファレンスへの参加
 - (4) 各種ボランティア活動への参画
 - (5) 第一級のセキュリティ資料の利用と購入
 - (6) ASIS ガイドラインの利用
- ・ホームページ : <http://www.asisonline.org/>



日本支部の概要

■ 概要

ASIS インターナショナル日本支部は、セキュリティに興味を持つ方々のために、35 年間にわたり交流活動と啓蒙活動を進めてきました。現在、主に研修会や定期セミナーなどを熱心に行っています。

- ・正式名称 : 一般社団法人 ASIS インターナショナル日本支部(略称 ASIS 日本支部)
- ・年会費 : 米国本部会員 5,000 円、日本支部会員 12,000 円
- ・支部長 : 長瀬 泰郎(代表理事)
- ・会員数 : 約 50 名(個人会員のみ)
- ・事務局 : 株式会社ロックシステム内(東京都品川区大崎)
- ・ホームページ : www.asis-japan.org

■ 沿革

- 1973 年 前身の「米国産業保安警備協会極東支部」として活動を開始
- 1975 年 支部番号 No.55 として正式に「ASIS 産業セキュリティ学会日本支部」となる。
- 2005 年 ホームページを開設(<http://www.asis-japan.org/>)
- 2006 年 ASIS International 年次総会への視察ツアープログラムを開始
- 2007 年 月次セミナーを開始
- 2010 年 日本唯一のセキュリティ専門家の交流団体として一般社団法人登記(2 月)。
- 2012 年 ASIS 世界大会において、日本人講師による初の講演(福島第一原発事故について)を実施

■ 日本支部活動について

東京都心にて月 1 回(毎月第三火曜日午後 6 時半)、セキュリティミーティングを開き、セキュリティ専門家によるプレゼンテーションや情報交換などを積極的に行っています(日本支部会員には参加費の割引特典があります。また、(ISC)²会員には参加クレジットが 2 ポイント付与されます)。
さらに、毎年 3 月、東京ビッグサイトで開かれる日本最大の「セキュリティショー」で、展示と講演を行うほか、10 月の「危機管理産業展」でも展示と講演を行っています。

■ 産業セキュリティ、社会セキュリティの広がり

産業セキュリティ、社会セキュリティは、企業、団体が事業活動を継続するのに欠かすことのできない概念です。幅広い人材が闊達に交流できる場として ASIS インターナショナル日本支部の果たす役割は少なくありません。特に、CSO(チーフセキュリティオフィサー)制度と企業内セキュリティ専門組織の構築を提案しているほか、組織継続(Organizational Resilience)、サプライチェーンリスクマネジメント、警備保障会社の品質基準などの紹介を行っています。

■ 入会のご案内

支部ご入会は事務局まで。ASIS インターナショナルへの入会サポートもしています。お気軽にご連絡ください。

以上

一般社団法人 ASIS インターナショナル日本支部 事務局
〒141-0032 東京都品川区大崎 3-6-4
トキワビル 7F
株式会社ロックシステム内
TEL 03-5437-1050 FAX 03-5437-1060
info@asis-japan.org www.asis-japan.org